

はちおうじ 八王子中央有料道路整備事業

受賞機関 東京都建設局
東京都道路公社

はじめに

東京の西部に位置する八王子市においては、中心市街地と中央自動車道八王子インターチェンジ周辺地区や昭島・あきる野方面を連絡する南北交通が国道16号と16号バイパスに集中しており、朝夕を中心に交通渋滞が生じている。また、八王子インターチェンジ周辺地区では、面的な整備が進められており、安全で快適な市街地を形成する上で、とりわけ南北方向の人や車の交通ルートが必要となっている。

八王子中央有料道路は、このような交通需要に対処するため、国道16号と16号バイパスの中間に計画されたものである。

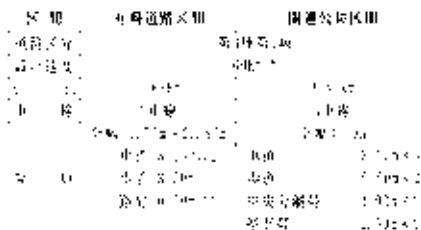
事業の概要

路線名：一般都道瑞穂あきる野八王子線

事業区間：東京都八王子市大和田町七丁目～同市梅坪町

事業期間：平成8年度～平成12年度

道路の構造：



事業費：約242億円

事業の特徴

八王子中央有料道路の沿線は既成市街地と自然環境に恵まれた丘陵部の都立小宮公園や雑木林等で構成されている。

本事業2.1kmのうち、起点部の既成市街地および小宮公園部の約1kmはボックスカルバートと山岳トンネルの構造とし、国道16号と中央自動車道八王子インターチェンジ直下の0.2kmはボックスカルバート構造とした。また、さらに北側に続く住宅部については橋梁を、そして丘陵部の雑木林の区間は法面構造とし、全路線にわたり周辺環境に十分配慮した構造・形式とした。



中丸橋を望む



掘り割り部を望む



ひよどり山料金所

このうち、トンネル部については、ナトム工法を採用したが、中央自動車道や住宅直下の土被りの薄い箇所においてはパイプルーフ工法や注入式長尺先受工法（AGF工法）を、また擁壁の基礎杭受替については側壁導坑工を補助工法として併用するなど都市土木の先端技術を駆使し施工を行った。

今回の八王子中央有料道路の開通は、八王子中心市街地から八王子北西部までの所要時間を大幅に短縮するとともに、地域の交通網の形成に寄与し、交通の円滑化と周辺のまちづくりに大いに貢献するものと期待されている。

受賞賛助会員 ㈱大林組東京本社、鹿島建設㈱東京支店、㈱熊谷組東京支店、清水建設㈱、大成建設㈱東京支店、大日本土木㈱東京支店、㈱地崎工業東京支店、戸田建設㈱東京支店、飛鳥建設㈱東京土木支店、三菱重工㈱